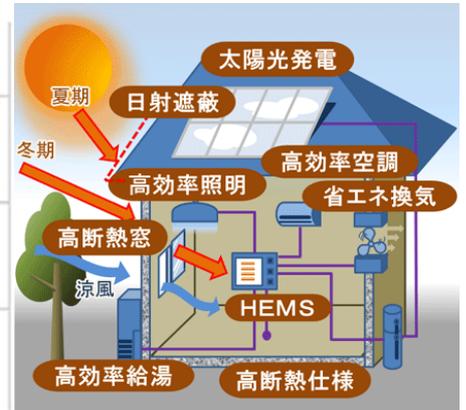


ZEH 支援事業 2,566 件交付決定(一次公募)

平成30年度 ZEH 支援事業 一次公募期間(5/28~6/29)に申請のあった2,583件を対象として、学識経験者を含む関係分野の専門家で構成された審査委員会で定めた審査基準に基づき、審査を実施しました。

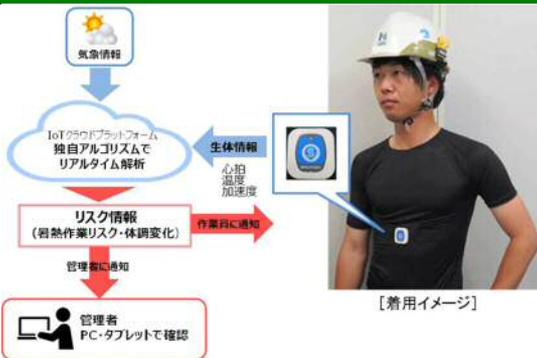
この結果、補助対象事業 2,566 件について交付決定を行いました。

	公募規模	申請件数	採択件数
新規取り組み ZEHビルダー/プランナー	約4.4億円 (約600件)	169件	166件
その他の ZEHビルダー/プランナー	約17.6億円 (約2,400件)	2,414件	2,400件
合計	約22.0億円 (約3,000件)	2,583件	2,566件



情報提供：環境省・環境共創イニシアチブ

IoT 技術で暑熱環境下での作業リスク低減



「スマートフィット for work」は、繊維メーカーのクラボウが開発したシステムで、シャツ型スマート衣料。「スマートフィット」を使用して暑熱環境下における作業リスクの管理をIoT技術で支援するものです。

シャツ型スマート衣料「スマートフィット」より取得した着用者の心拍や温度等の生体情報と、作業現場地域の気象情報などを独自のアルゴリズムを使って解析・評価し、作業員の「暑熱環境下での作業リスク」や「体調変化」

情報」をリアルタイムに通知します。

長谷工コーポレーションは、新築マンションの建設作業所で働く作業員の、夏場の体調管理のため、2018年7月より「スマートフィット for work」を東京地区4作業所、関西地区2作業所、東海地区1作業所の合計7作業所に試験導入します。



情報提供：創樹社

ビジネスは行動あるのみ



犬猿の仲である北朝鮮の金正恩労働党委員長とアメリカ合衆国大統領ドナルド・トランプの歴史上初となる会談がシンガポールで実現した。

歴代の米国大統領が金ファミリーとの約束をことごとくほごにされた経緯がある中、今回の会談で戦争終結宣言と核とミサイル廃棄、そして、日本にとって最重要課題である拉致被害者の解放と帰国。

これが実現したならトランプ大統領はノーベル平和賞を受賞するだろう。トランプ大統領は「生き馬の目を抜く」ようなビジネスマン。少年時代、傍若無人のドナルドに父親は新聞配達を命じたという。しかし、ドナルドは運転手に命じ親のリムジンで毎朝新聞配達をしたという逸話が残っている。とにかく彼のビジネスの原点は手段を選ばない「行動」にあるのだと思う。

ビジネスは、計画→行動→検証→改善。このサイクルを回すことで成功へ導く。しかし、大半が計画倒れに終わる。トランプ大統領は行動の人、行動こそが成功の秘訣だ。

情報提供：特別情報誌